

最近、講話の時間に、「私を信じてください」という言葉を使ったり、ホームページにそのような文言を使ったりしておりますが、その言葉の意味を正しく理解していただいているでしょうか。

私というのは、肉の田池留吉のことです。あなた方の目に見える私、田池留吉のことです。その私を信じてくださいと言っているのです。どうでしょうか。素直にハイと聞いてもらえるでしょうか。

「今更、どうして肉の田池留吉をと言い出すんですか」と疑問に思われる方がおられると思います。「今までは、母を思う瞑想、神を思う瞑想、目には見えないが内在しているタイケトメキチに心に向け、タイケトメキチを思う瞑想、広い広い、すべてを許し、すべてを包み込む暖かい優しい心をイメージしながらする瞑想、タイケトメキチはあなた、あなたはタイケトメキチという信を深めていく瞑想と謳^{うた}ってきたのに」と思われている方がおられると思います。

かつて、セミナーの講話で、「少々誤解されるかも知れませんが、あえて次のような瞑想に進めていきます」とお伝えしました。しかし、この瞑想が波動の世界を理解するのにもっとも必要不可欠なもののなのです。肉の思いの強い方々、意識の転回を疎^{おろそ}かになさっている方々はとうてい受け容れられないと、反発、拒否されることでしょう。そして、何とか理屈を言い立てて、私から心を離していく方も出てくるでしょう。

ところで、あなた、肉のあなたが、「私は信じています」とか「信じたい、信じようと思っています」と言われるとき、一体、私の何を信じようとしているのでしょうか。どんな心の感得があってそのように言っているのでしょうか。肉のあなたが肉の私を信じるとはどのようなことだと思っていますか。肉のあなたが肉の私に、あなたを信じていますと伝えることはあるでしょうが、肉の私を信じますというのはいかがなものでしょうか。所詮^{しょせん}、私の心があなたの心でわかってこなければ「私を信じてください」という言葉を正しく理解することは無理でしょう。

とにかく、肉の私を思い、肉の私に心に向け、そして、心を合

わせるようにしてみてください。その際、いつものように頭をクルクルと回すのを止めてください。自分自身を肉だと思っている限り、やはり、自分を守ろうとする思いが出てきてなかなか「ハイ」というわけにいかないようです。私という道標^{みちしるべ}を信じて実行してってください。きっと、あなたの心がよい答えを出してくるでしょう。

肉の田池留吉に心を向けたときに伝わってくる波動、響いてくる波動がわかってくれば、今までの疑問は少しずつ氷解していくでしょう。そして、真実の世界が明らかになってきます。すでにたくさんの方がやり始めてそれなりの結果を出してきておられます。あなたも、どうぞ、私がただ今お話ししたことを信じて始めてください。待っていますよ、あなたの歓喜している顔、声、そして、素直で優しい明るい波動を楽しみにしながら待っています。

最後にもう一度、肉の田池留吉から流れている波動がわかってくれば、お母さんの温もりもわかってきます。そうすると、「ごめんなさい、ありがとう、嬉しいです」という思いが心の中に広がってきます。そして、あなたの過去世の叫びが聞こえてくるようになり、やがて、過去世たちの悲しみ、寂しさ、苦しみがあなたから更に愛を引き出していくことになるでしょう。そして、過去世がいとおしくなり、過去世を受け容れていこうと思えば思うほど自己供養もはかどっていき、今世生まれてきた意義も、来世につなぐ人生や、この学びの意味も明瞭になってくるでしょう。